



2025年3月14日
コスモ石油マーケティング株式会社
北日本石油株式会社
有限会社ハジヤイ
株式会社レポインターナショナル

会津若松地域飲食店・キッチンカーからの廃食用油回収を開始
～会津の資源を活用・SAF等への資源化促進によって循環型社会の実現へ～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：森山 幸二）は、北日本石油株式会社（代表取締役社長：渡邊 勇人）、有限会社ハジヤイ（代表取締役：堂平 義忠）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役：CEO 越川 哲也）と共に、福島県会津地域において、商店街や地域の飲食店、キッチンカー事業者を中心に使用済み食用油（以下「廃食用油」）の回収を2月14日から開始したことをお知らせします。回収した廃食用油は、コスモ石油株式会社（代表取締役社長 鈴木 康公）が出資する合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY が大阪府堺市に新たに設置した工場で、従来の航空燃料よりも温室効果ガスを大幅に削減できる持続可能な航空燃料（SAF）の原料として活用する予定です。

コスモエネルギーグループは、日揮ホールディングス株式会社、株式会社レポインターナショナルと共同で、国内における廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立しました。2024年12月25日には SAF 製造設備（プラント）の完工を迎え、現在は国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約3万キロリットルの SAF の供給を目指しています。2025年度以降、原料となる廃食用油の調達から、SAF の製造・品質管理、航空会社への供給に至るまでのすべての SAF サプライチェーンの構築を国内で実現する予定です。

本取り組みは、従来廃棄されていた廃食用油を資源化することで、温室効果ガスの排出量削減と、会津若松市が抱える喫緊の課題であるごみ減量に貢献します。さらに、観光業が盛んなこの地において、本取り組みを通じて、観光庁が策定した「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」に基づき、サステナブルツーリズム（持続可能な観光）の実現に向け、地域一体となった持続可能な観光地の構築を目指します。

■各社の役割

コスモ石油マーケティング株式会社	使用済天ぷら油の資源化と活用に向けた取り組みの全体設計及び取り纏め
北日本石油株式会社	コスモ石油 セルフステーション会津城北への使用済天ぷら油回収拠点の設置
有限会社ハジヤイ	使用済天ぷら油排出者と本取組みの連携
株式会社レポインターナショナル	使用済天ぷら油の回収及び運搬

